



金石中 学校だより

Website → <http://www.schoolweb.ne.jp/kanazawa/kanaiwa-j/>

No. 7 令和6年10月1日

E-mail → kanaiwa-j@kanazawa-city.ed.jp

金沢市立金石中学校 校長 上森 範人

〈全国学力・学習状況調査、県基礎学力調査の結果について〉

朝晩の気温が下がり、清秋の気配が感じられるようになってまいりました。さて、4月に3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」及び、「県基礎学力調査」の結果を分析し、対策をまとめました。これまでの取組みを検証し、学力向上に向け全職員で取り組んでまいります。

全国学力・学習状況調査	国語	全国平均を同程度（県平均を下回る）
	数学	全国平均を同程度（県平均を下回る）
県基礎学力調査	社会	県平均を下回る
	理科	県平均を下回る
	英語	県平均を下回る

【分析】基礎基本を問う設問の解答率は高いが、正答率は低い。ただ、記述式の設問の無解答率は高い。また、個人間の学力差も大きい。

【対策】基礎学力の定着のために宿題をこまめに出し、進捗状況をその都度確認する。授業の終末でまとめを共有する際に表現を工夫させることで、適切な用語を用いて根拠を記述する力をつけさせる。

〈1学期末の学校評価アンケートの結果について〉

本校では、保護者の皆様のご意見をお伺いしながら「保護者・地域と共に歩む活力ある学校づくり」を推進するため、年2回の学校評価アンケートを実施させていただいております。1回目となる1学期末（7月）の保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。ここでは、保護者の皆様にぜひお知らせしたい項目を取り上げて掲載させていただきました。（全ての項目については、HPをご覧ください。）

また、10月21日（月）に開催されます学校運営協議会において、委員の皆様には、授業参観していただくとともに、アンケート結果等をお伝えいたします。今後は、委員の皆様からいただいたご意見やアンケート結果等を基に、より良い学校となるよう改善を進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

1 学校生活

学校や学級は、楽しく、安心安全に過ごすことができる場所であることが大切です。今後も生徒の皆さんが授業や部活動、学校行事等に積極的に参加し、たくさんの笑顔が見られる学校づくりに努めてまいります。

〔「数値」は肯定的割合（％）：「そう思う」・「ややそう思う」の合計〕 〔「比較」は、前年度後期と比較して5%以上の差がある場合矢印で示す〕

質問項目			R 6 前期	R 5 後期	比較
生徒	学校へ行くのが楽しい。	1年	94	—	—
		2年	83	86	—
		3年	84	83	—
	部活動に向上心を持って積極的に参加し、充実している。	1年	95	—	—
		2年	90	89	—
		3年	90	86	—
保護者	お子さんは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	1年	90	73	—
		2年	76		
		3年	67		
	お子さんは、部活動に向上心を持って積極的に参加している。	1年	97	76	—
		2年	79		
		3年	64		

2 豊かな心の育成

今年度の教育目標は「確かな学力としなやかで思いやりのある心を持った生徒の育成」です。

豊かな心の育成に向けて、学校行事などの教育課程を充実させるとともに、生徒が自分の役割をしっかりと果たし、自己有用感が高まるよう支援してしていきたいと思ひます。

質問項目			R 6 前期	R 5 後期	比較
生徒	家庭、地域、学校などのどこかで自分が活躍できる場所がある。	1年	85	—	—
		2年	85	84	—
		3年	84	76	↑
	人の気持ちや物を大切に、まわりを思いやる優しい言動をしている。	1年	96	—	—
		2年	95	94	—
		3年	96	90	↑
	金石中学校の生徒であることに満足や誇りを感じている。	1年	86	—	—
		2年	75	65	↑
		3年	79	67	↑
保護者	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	1年	79	75	—
		2年	78		
		3年	71		
	学校は、命の大切さや社会のルールを守る態度を育てている。	1年	83	77	—
		2年	82		
		3年	79		
	金石中学校の教育活動に満足している。	1年	83	64	—
		2年	73		
		3年	71		

3 学習

1学期の学習目標は、『授業の終末では「わかった」「できた」をまとめよう』でした。授業の中で、考えたことや学んだことを自分の言葉でまとめることで、少しずつですが「わかった」「できた」を実感することができる生徒が増えてきているように思ひます。

さらに、2学期は、「授業の終末では、表現を工夫して「わかった」「できた」まとめよう」に取り組んでおり、今後も基本的な知識・技能の定着、活用力のさらなる充実になつてまいります。

質問項目			R 6 前期	R 5 後期	比較
生徒	授業中に自分で考え、その考えを仲間と話し合うことができた。	1年	89	—	—
		2年	86	78	↑
		3年	93	82	—
	授業のまとめを自分の言葉を使って行うことができた。	1年	87	—	—
		2年	87	84	—
		3年	92	80	↑
	R 6 年度より自ら計画を立て、自ら学ぶ時間 (MMJ) を活用し、学習することができた。	1年	87	—	—
		2年	50	—	—
		3年	50	—	—
保護者	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	1年	72	57	—
		2年	60		
		3年	59		

〔「数値」は肯定的割合 (%) : 「そう思う」・「ややそう思う」の合計〕

〔「比較」は、前年度後期と比較して5%以上の差がある場合矢印で示す〕